

# ご 挨 拶



早稲田大学 産業経営研究所所長 花 井 俊 介

ご紹介いただきました産業経営研究所の花井でございます。主催者を代表しまして、一言だけご挨拶を申し述べたいと思います。

まず、今回のフォーラムを企画して、そしてわれわれ産業経営研究所と本日お見えの Khang, Ho 先生がヘッドをされている韓国の保険研究院と早稲田大学の保険研究所との共催を実現するために、いろいろな形でコーディネートの労をとっていただいた李洪茂先生に深く感謝したいと思います。李先生、本当にありがとうございました。

そして、このフォーラムの趣旨を理解していただいて、本当にお忙しい中時間をとって、本日の講師を引き受けてくださった先生方に改めて厚く御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。どうぞ本日はよろしくお願いいたします。

さて、今回のフォーラムのテーマというのは、保険会社の統合的なリスクマネジメントということです。私自身、専門分野は経済史という分野でして、経済史の中には保険業界の発展の経済史をやっている人もいますが、私自身はまったくそういうことはやっておりませんので、本日のテーマに関してははずぶの素人ということになります。

しかしながら、素人の私が見ても、たとえば 1990 年代に入ってから景気がおかしくなってから、本来だったらわれわれのリスクを支えてくれなければいけない保険会社が、自分たちのリスクすらコントロールできないで破綻するということが繰り返し起こってきました。こういう現実を見ると、今回の取り上げられているテーマというのは、確かに専門家の方々のテクニカルな問題である部分もあると思いますが、それだけではなくて、実はわれわれごく一般的な人間、つまり保険に加入している側の人生設計をかなり大きく狂わせるような可能性も含んだ、ある意味重要な社会問題であろうと思っています。

このアカデミック・フォーラムの本来の趣旨というのは、専門的なトピックを取り上げて、研究者、専門家の間で情報を交換し、意見を交換するということになりますが、今回、このフォーラムに限っていいますと、そういった本来の目的に加えまして、われわれ一般の人にとってもある意味、非常に関心を持つ問題、あるいは持たなければいけない問題を取り扱っていると思いますので、学生を含めて一般の方々が多数参加して下さって、そしてそれぞれに有益な情報を得て持ち帰る場になればいいのではないかと考えております。

本日のフォーラムは、これから夕方までのかなり長丁場ということになりますが、講師の先生方、ぜひよろしくお願いいたします。

また、最後になりましたが、会場にお見えの皆さん、お忙しい中、足をお運びいただきまして、本当にありがとうございます。ぜひ最後の報告まで聞いていただき、さらに可能であればディスカッションにも積極的に参加して、フォーラムを盛り上げていただければありがたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

これで私の挨拶にかえたいと思います。失礼しました。